

## スライドスイッチの修理（接点の接触不良）

2023.06.03

トミー・マック

## 1. 要点

スライドスイッチは、1回路2接点（2ポジション：電源の入切り）や2回路3接点（3ポジション：電源切り・音量小・音量大など）がおもちゃ全般に使われています。

接点不良の程度が軽ければ、スライドスイッチの開口部から接点復活剤を吹き付け、つまみを5、6回ほど左右に往復させることで、接点の腐食や汚れを磨いて取り除き、接触が回復することがあります。

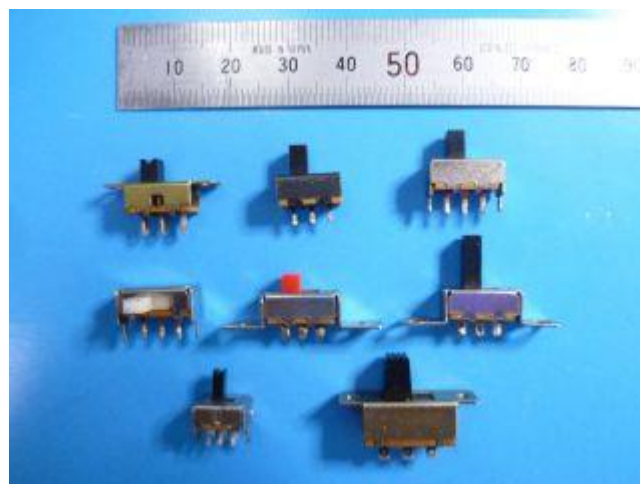
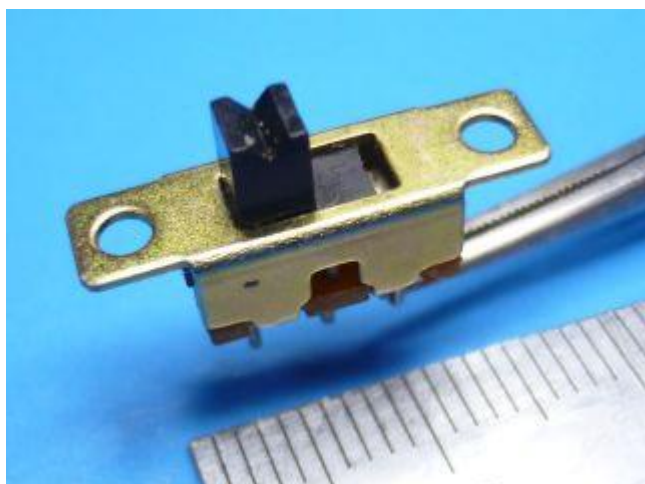
まず最初にこのことを試してください。それでも改善しない場合は分解修理が必要です。

スライドスイッチは大きさや形状が多様で、代替品を用意するのは困難です。

今回は、接点の接触不良と推測されるスライドスイッチを、分解して修理する方法を説明します。

## 2. 方法

## A. 1回路2接点（2ポジション：電源の入切り）

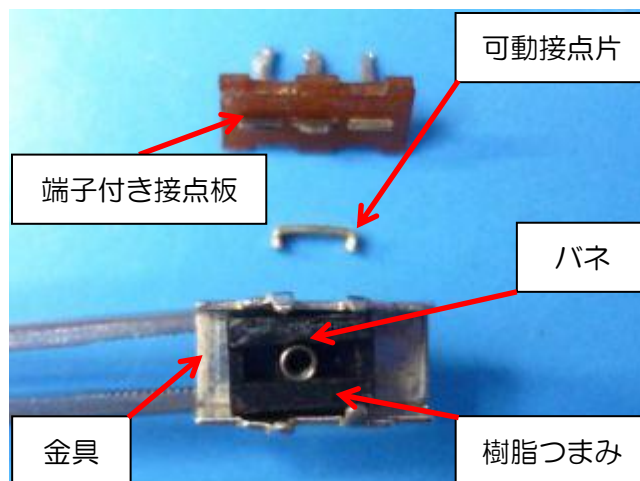
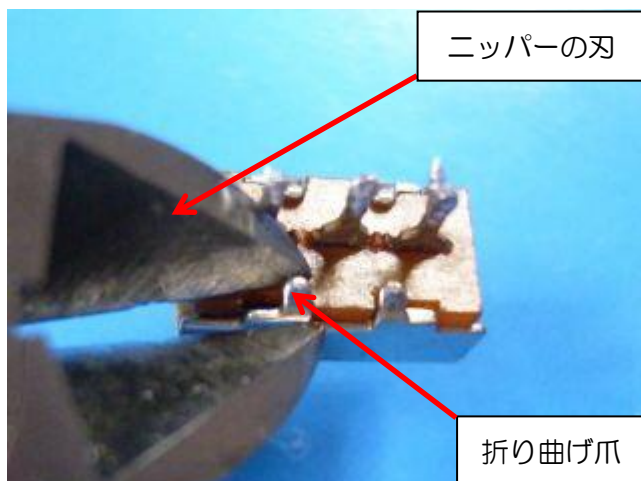


## (1) 金具の外し

小さな部品なので分解時にパーツを紛失しないように、小さな紙箱を用意してその中で分解します。

ニッパーの刃を、金具側面の4ヶ所の折り曲げ爪に合わせ、決してほぼ真っすぐに立てます。

外れると、端子付き接点板と可動接点片、そして樹脂つまみとバネおよびケースとの5つのパーツに分かれます。



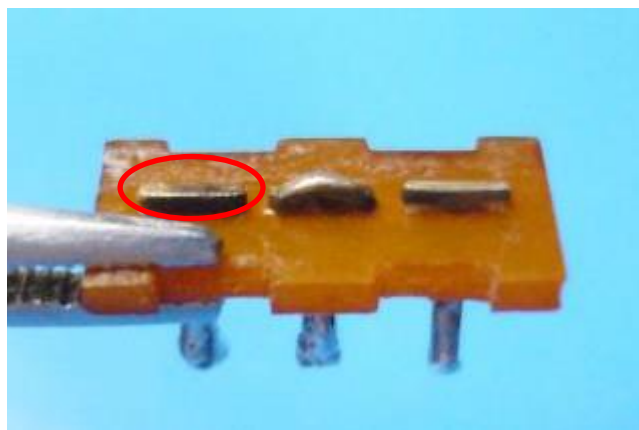
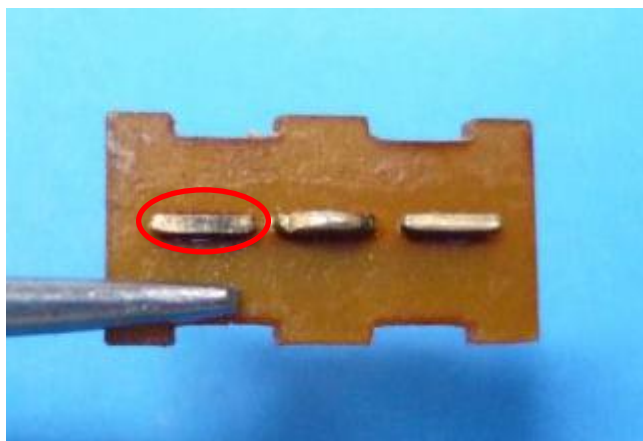
## スライドスイッチの修理（接点の接触不良）

（2）可動接点片の点検

使い古したもので、接点は接触不良ではなく、汚れています。

（3）端子付き接点板の点検

接点の一部が汚れています。

（4）可動接点と、端子付き接点板の修理

手順は以下の通りです。

- 1. アルコールで拭き取って油を除去する。
- 2. 消しゴムで接点をこする。
- 3. 汚れや錆が取り切れない時は細かいヤスリで削っても良いですが、ピンセットでこすり取れる場合は、その後消しゴムできれいにしてください。
- 4. 接点復活材を綿棒などで塗ってください。吹き付ける場合は軽く拭き取ってください。

可動接点



端子付き接点板

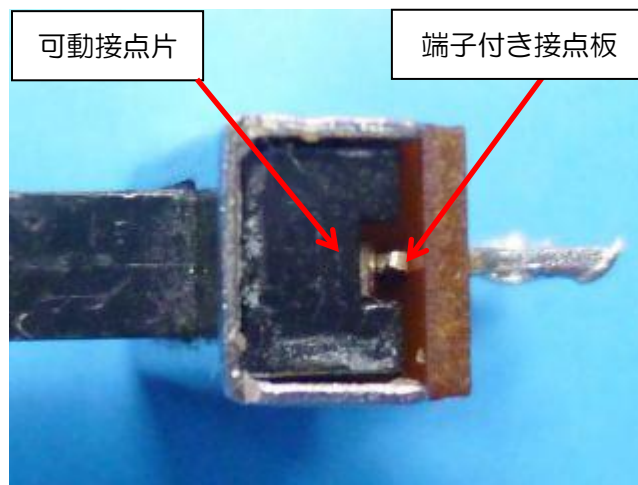
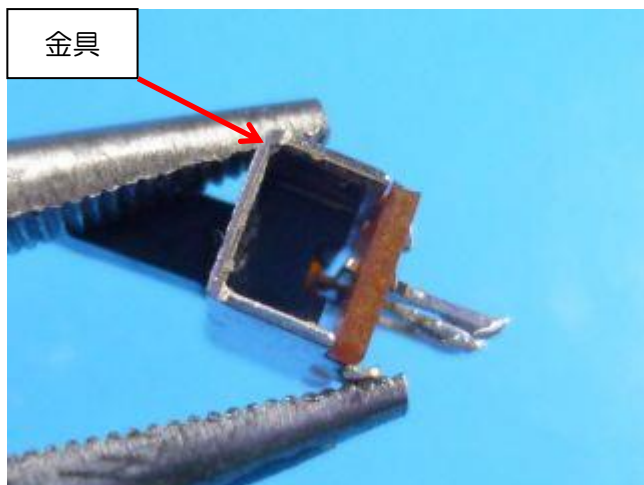


これで、原因追及と **修理完了**。

## スライドスイッチの修理（接点の接触不良）

### （5）元に戻す

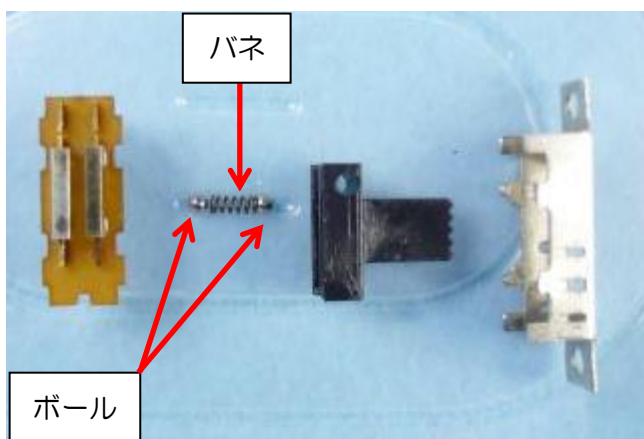
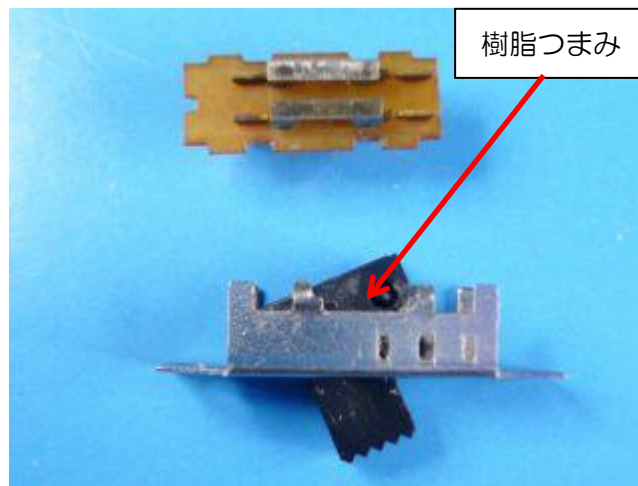
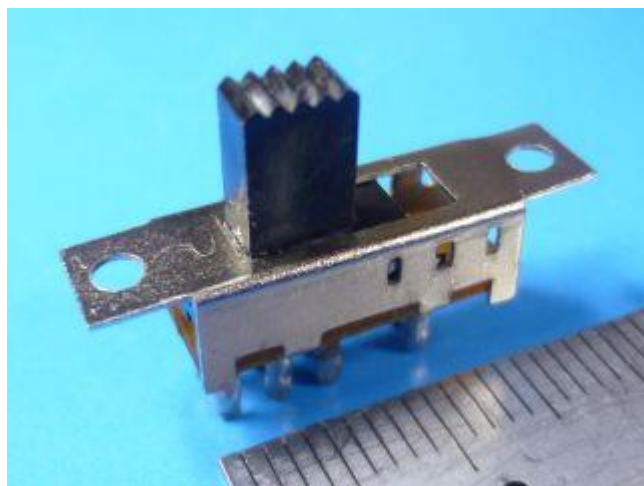
樹脂つまみの内側にバネと可動接点片を入れます。次に、金具に端子付き接点板を固定し、金具の角と折り曲げ爪をラジオペンチで挟んで曲げ戻します。折り曲げた後、可動接点片と端子付き接点板がズレなく収まっているかと、スムーズに摺動するかを確認します。



### B. 2回路3接点（3ポジション：電源切り・音量小・音量大など）

#### （1）金具の外し

外し方は同じくニッパーの刃を、金具側面の4ヶ所の折り曲げ爪に合わせ、挟んでほぼ真すぐに立てて外れます。（写真略）



樹脂つまみを金具から引き出すと、小さなボール2個とバネがあります。無くしやすいので必ず箱などの中で外してください。

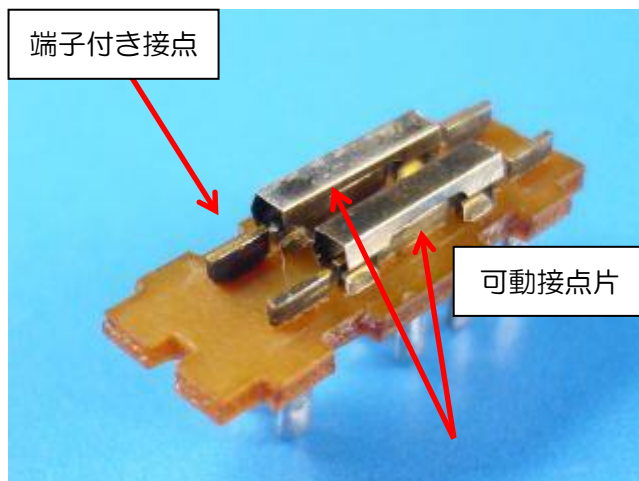


## スライドスイッチの修理（接点の接触不良）

可動接点片は端子付き接点板を包むように接触する構造になっています。

(2) 可動接点片の点検

可動接点片の錆や汚れは挟み込む内側になっているので確認し辛いです。また消しゴムで研磨もできません。

(3) 端子付き接点板の点検と修理

可動接点片と接する上方の端子の両面を、消しゴムで研磨します。

Before



After



これで、原因追及と **修理完了**。

(4) 元に戻す

樹脂つまみの内側にバネとボール2個を入れ、端子付き接点板に可動接点片を2個嵌め、金具に端子付き接点板を固定し、金具の角と折り曲げ爪をラジオペンチで挟んで曲げ戻します。

後は、スムーズに摺動することを確認します。

**完了**。

終わり